

## フルオレセインアミン標識コンドロイチン硫酸ナトリウム (C1)

製品コード : FACS-C1

容量 : 3mL (1mg/mL、PBS (－) 溶液)

性状 : 黄緑色の液体

コンドロイチン硫酸ナトリウムの由来 : Shark Cartilage

コンドロイチン硫酸ナトリウムの CAS 番号 : 12678-07-8

蛍光基 : フルオレセインアミン

蛍光基の CAS 番号 : 3326-34-9

製品概要 : コンドロイチン硫酸はグルクロン酸と N-アセチルガラクトサミンから構成されるグリコサミノグリカンの一種で、軟骨に多く含まれています。本品はサメ軟骨由来のコンドロイチン硫酸 C ナトリウムを Ogamo らの方法<sup>1)</sup>に従って蛍光標識したもので、グルクロン酸のカルボキシル基にフルオレセインアミンを導入しています。硫酸基は構成二糖単位当たり約 1 個で、約 7 割は N-アセチルガラクトサミンの 6 位 (C 構造) に、残り約 3 割は N-アセチルガラクトサミンの 4 位 (A 構造) に結合しています。本品はろ過滅菌、エンドトキシン濃度測定済みのリン酸緩衝化生理食塩液 (PBS (－)) 溶液です。平均分子量は 4 万～8 万で、励起波長は 485～500nm、蛍光波長は 510～525nm です。濃度、分子量等の実測値は同封の Certification of Analysis をご覧下さい。

### 取扱上の注意 :

- 1) 取扱に際してはできるだけ光を避けて下さい。強い光を避ければ、室温で操作可能です。
- 2) 解凍後は十分に攪拌してからご使用下さい。
- 3) 遮光して-20℃以下に保存してください。適当量を小分けして、保存されることをお勧めします。
- 4) 蛍光強度は溶液の pH で変化し、酸性では蛍光が弱まります。蛍光強度を測定する際は溶液の pH に注意して下さい。
- 5) 本品は研究用試薬であり、医薬品その他の目的にはご使用になれません。

### 文献 :

- 1) Ogamo, A., et al.: Carbohydr. Res., **105**, 69 (1982)